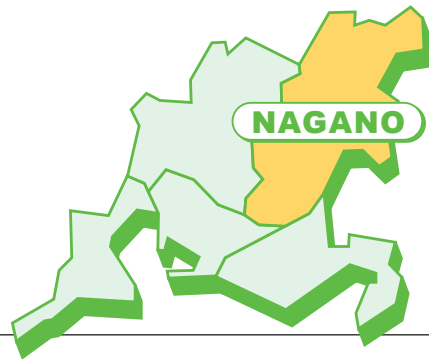


# 中部 だより



中経連事務局員が、担当するエリアでお聴きした、各県の最新トピックや地域特有の情報を紹介するコーナーです。

## 「天下第一の桜」！～高遠の桜と地元中学の観桜期活動～

### タカトオコヒガンザクラ

皆さんは「高遠の桜」をご存知ですか。高遠は長野県伊那市の高遠城址公園で見られる桜の名所です。

タカトオコヒガンザクラという種類で、ソメイヨシノより少し小ぶりで赤みのある花が特徴で



す。観桜期には、公園内に約1,500本が咲き乱れ、古くから「天下第一の桜」と称されています。「さくら名所100選」にも選ばれており、例年4月の見頃の時期には、約20万人の花見客が訪れます。

### 地元中学の観桜期活動

観桜期には、多くの方が観光バスや自家用車で当地を訪れるため、公園近くに臨時駐車場が数多く設置されます。その一つが伊那市立高遠中学校です。

同校では、約40年前に観桜期の活動として、公園清掃を始めましたが、今では、校庭の駐車場提供やトイレの開放を行うとともに、地元行政や地域の方々と連携して、PTAやボランティアの生徒による公園までの道案内やパンフレット配布、トイレ清掃、桜茶のおもてなしや土産物の販売が行われています。そして、



写真提供：伊那市立高遠中学校

生徒は、事前におもてなしや所作について学び、接客にあたります。お客様との対応を通じて「人を思いやる」「おもてなしとは」ということを感じたり、地元を誇りを持つ生徒も多く、地元でサービス業を志向する生徒もいるそうです。これらは、地元産品の販売

その生徒の姿に対し、全国からお礼のメッセージが届いたり、駐車場としては城址公園まで距離があるにもかかわらず、毎年同校に駐車するリピーターもいるそうです。

による地域への売上貢献にとどまらず、人口減少の波が押し寄せる同地域において、今後の労働力を支える若者が地元の良さを再発見し、地元に着定するきっかけになりうるという若者のキャリア教育の意味からも大変良い取り組みなのではないでしょうか。

この観桜期の活動は、毎年、地元新聞でも取り上げられており、さらに2013年度には長野県第1回おもてなし大賞(知事表彰)や中部地方整備局等が事務局を務める第14回中部の未来創造大賞において、優秀賞および中部経済連合会賞も受賞しています。

### 歴史と食文化

もともと高遠は、武田晴信(信玄)が伊那谷支配の一拠点として新城を築いた他、徳川2代将軍秀忠の子として生まれた保科正之が、青年期まで過ごして仁政を学び、その後徳川将軍家を支え江戸時代の礎を築くなど、歴史ある土地です。また、高遠城は、(公財)日本城郭協会が2006年に定めた「日本100名城」にも選定されています。さらに、歴史博物館や民俗資料館、美術館も充実し、石工の伝統などもある豊富な観光資源を有した所です。

2006年に伊那市、高遠町、長谷村が合併した現在の伊那市は、高遠の他にも「みはらしファーム」やパワースポット「分杭峠」など見所満載です。また、食べ物も「ローメン」や「高遠そば」、さらに隣の駒ヶ根市とともに有名な「ソースカツ丼」など



▲ソースカツ丼



◀ローメン

写真提供：長野県観光機構

バラエティに富んでおり、来る人を飽きさせません。

皆さんも、是非一度、観桜期の高遠を訪問されてはいかがでしょうか。

文：長野担当 山口 智

取材協力：伊那商工会議所、伊那市立高遠中学校、伊那市役所商工観光部高遠長谷商工観光課